

科目名	英語特講 B	科目コード	50570
-----	--------	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	太田恵子
単位数・区分	2単位・選択
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義56，演習XX，実験XX，その他4】
教科書	Betsy Cassiriel, Gail Reynolds, Stories Worth Reading 1, Thomson, 2006
補助教材	プリント
参考書	英々辞典、英和辞典、和英辞典

#### 【A. 科目の概要と関連性】

教科書上の題材に対し、自分なりの考え方や意見を持ち、英語という言語(ツール)を通じて、他者と意見交換や発表等を行う。与えられた主題に関する英語教材の読解・聴解に基づき、英文で意見を書いて発表する機会を持つことで4技能の融合を目指す。100%の正確さよりも、英語によるメッセージ発信ができ、他者に理解される程度の流暢さを目指す。

関連する科目：英語、コミュニケーション特講、5年選択英語、総合英語、実用英語

#### 【B. 到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B)と主体的に拘わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
教科書上で使用されている語彙や文法を理解し、書かれている題材の大意を読み取ることが出来る。	60%	b3
身の回りにある事柄に対して意見を持ち、それを英語で表現したり、発表することができる。	40%	b3

#### 【C. 履修上の注意】

地域性を鑑みて将来の英語を使う場面を想定するとき、英語を母国語とする者だけでなく、対アジア人とのコミュニケーション・ツールとして英語を使用する可能性が高い。そういった場面に通用する英語能力と国際性を身につけるための一助を担うことを目指す授業であり、日本人間での英語の使用に対する積極性も求められる。

#### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験(60%)【内訳：前期末(25)，(35)】

speech and presentation(20%)

その他(10%)【課題の調査、授業への参加・発言、提出物など】

【E . 授業計画・内容】

前期

週	内容	備考
1	Guidance, Self-intro using the form in pp.6.	
2	Unit1 Part One: pp.1-5	
3	Unit1 Part Two: pp.7-11	
4	Unit2 Part One: pp.13-19	
5	Unit2 Part Two: pp.20-23	
6	One Step Beyond: pp.12 or 24	
7	Unit3 Part One: pp.25-30	
8	Unit3 Part Two: pp.31-35	
9	Unit4 Part One: pp.37-42	
10	Unit4 Part Two: pp.43-47	
11	One Step Beyond:pp.36 or 48	
12	Unit5 Part One: pp.49-54	
13	Unit5 Part Two: pp.55-59	
14	One Step Beyond: pp.60	
-	前期末試験	試験時間:50分
15	試験解説と発展授業	

後期

週	内容	備考
1	Unit6 Part One: pp.61-67	
2	Unit6 Part Two: pp.68-71	
3	Unit7 Part One: pp.73-79	
4	Unit7 Part Two: pp.80-83	
5	One Step Beyond:pp.72 or 84	
6	Unit8 Part One: pp.85-90	
7	Unit8 Part Two: pp.91-95	
8	Unit9 Part One: pp.97-103	
9	Unit9 Part Two: pp.104-107	
10	One Step Beyond:pp.96 or 108	
11	Unit10 Part One: pp.109-114	
12	Unit10 Part Two: pp.115-119	
13	One Step Beyond:pp.120	
14	Project Presentation	
-	後期末試験	試験時間:50分
15	試験解説と発展授業	